

高校生による演劇公演「トロイアの女」いよいよ本番



西播地域の高校演劇部が参加し、姫路市出身の演劇プロデューサー笹部博司さんらプロの演劇人と創り上げる「高校生による演劇公演」の第4弾が、3月28日(土)・29日(日)にキャスパホールで開催されます。今年は賢明女子学院、香寺、琴丘、飾磨、自由ヶ丘、龍野、姫路北、姫路工業、姫路飾西、姫路南の10校から32名が参加。これまでの3回はシェイクスピア作品に取り組みましたが、今回はギリシャ悲劇に挑みます。

古代ギリシャの詩人エウリピデスによる「トロイアの女」。トロイ戦争が終わり、ギリシャ人の奴隷となったトロイアの王妃と王女たちの運命を描いた物語です。主人公ヘカベを演じる藤井陽菜さん(琴丘高3年)は「酷い目に遭い続けても心を強くもって戦い続ける女性をリアルに感じてほしい」、アンドロマケ役の齊田のどかさん(賢明女子学院高2年)は「未来に向かってあえて辛い道を選び生きていく女性。自分の最大限を越えて挑みたい」、カッサンドラ役の山崎ひなた

さん(姫路飾西高2年)は「悲惨な運命と知りながら飛び込んでいく彼女に最後まで寄り添って演じたい」、ポリュクセネを演じる美甘実咲さん(香寺高3年)は「自分の体を通して彼女の思いを代弁したい」と、それぞれ意気込みを語ります。

昨年は出演者として参加し、今回は演出チームの黒田莉子さん(賢明女子学院高2年)は「笹部さんが言われる『言葉や音の一つひとつを大切に』を実現したい。物語は悲劇だけれど、笑える場面もある。演劇になじみのない人でも楽しめる作品になれば」と話しています。



(後列左から)出演者の藤井陽菜さん、齊田のどかさん、(前列左から)山崎ひなたさん、美甘実咲さん

※詳細は巻末の「事業あんない」をご覧ください。

2020年、「高校生による演劇公演」の新しい幕開け。

一般公募の中学生・高校生が主体的に公演づくりに参加する新たな企画が始まります。第1弾はサン＝テグジュペリの名作「星の王子さま」。今年4月以降に体験ワークショップ、8月にオーディションを実施し、2021年3月27日(土)・28日(日)に上演を予定しています。

問キャスパホール ☎079-284-5806

「はじめてのフルート教室」受講生による発表会を開催



フルート未経験者を対象に、昨年10月に開講した「はじめてのフルート教室」受講生による発表会を、3月28日(土)にパルナソスホールで開催します。

講座は全12回。日本で初めてフルートを製作した村松フルート製作所の協力で、レッスン時に無料で楽器を貸し出すほか、ソプラノリコーダーを横向きにしたような「ファイフ」を全員に配布。ムラマツ・フルート レッスンセンターの講師3名が指導にあたっています。

「5音で演奏できる曲、次は6音と少しずつ増やしていくのですが、みなさんとても熱心。2週間に1回しかフルートを使わないのに確実に上達しています」と講師の遠藤 慎さん。取材日はレッスンの9回目でしたが、いままで一度もフ

ルートにふれたことがないとは思えないほどの出来栄で、一人ひとりに対する講師の方々の細やかな指導も印象に残りました。

受講生の河内真紀さんは「フルートは学生の頃からずっと憧れていた楽器。アンサンブルが楽しい」と笑顔に。黒田伸吾さんは「クラシックギターと違って持続音が出せるのがいい。でも難しい」と苦笑します。発表会ではAクラス(昼)が「ちょうちょう」「エーデルワイス」を、Bクラス(夜)が「河はよんでる」「喜びの歌」を2部合奏するほか、ファイフを使った合同演奏「ロンドン橋」も。講師によるフルートアンサンブル演奏、プロのフルート奏者によるゲスト演奏も予定しています。

2020年度も小学5年生以上のフルート未経験者を対象に、10月に開講する予定です。遠藤さんは「フルートに慣れ親しんでもらうことはもちろん、『吹けた!』という達成感を味わってほしい」と話しています。

※詳細は6ページをご覧ください。

問パルナソスホール ☎079-297-1141



講師の遠藤 慎さんとフルート、ファイフ